



釜利谷の緑から GREEN×EXPO 2027 へ



校長 荒井 宏明

9月は雨の日が多く、外で体育をしたり、休み時間に校庭で思い切り遊んだりできる日がほとんどありませんでした。雨が降っていなくても曇り空の日が多く、校舎の後ろに広がる裏山と、その上にかかる美しい青空をなかなか見ることができず、少し寂しく感じています。10月は、爽やかな秋晴れの日が多くなることを願っています。

先日、職員玄関の上に「GREEN×EXPO 2027」の横断幕が設置されました。来年に迫った国際園芸博覧会を、ぐっと身近に感じます。GREEN×EXPO 2027は、2027年3月から9月まで横浜・上瀬谷で開催され、「幸せを創る明日の風景」をテーマに、花や緑、農、食などを通して、自然との共生や持続可能な未来について考える国際的な博覧会です。

GREEN×EXPO 2027に向けた学びは、すでに始まっています。1年生は、たい肥や黒土を使って土づくりに取り組み、できた土を GREEN×EXPO 2027 の事務局へ送り、現地での栽培に役立ててもらっています。3年生は「フラワープロジェクト」として、花ボランティアや学校地域コーディネーターの皆様の力を借りながら「たね団子」を作り、花壇に植えました。学校をきれいな花でいっぱいにと、大切に育てています。

5年生は、大林組による出前授業を実施し、森林の役割や、木を適切に伐採し(使い)再び育てる森林循環の大切さについて学びました。VR で大型木造建築の現場を体験したり、さまざまな種類の木材の手触りや香りを感じながら積み木のタワーを作ったりする姿も見られました。「地球温暖化のことを詳しく知れてよかった」という感想もあり、これからの総合的な学習へとつながっています。今後、その他の学年についても、様々な角度から GREEN×EXPO 2027 へ向けての学びを計画していきます。各学年が異なる入口から自然や環境について学び、自分なりの視点をもって来年度の GREEN×EXPO 2027 を訪れることには、大きな意味があると考えています。



GREEN×EXPO 2027に参加する意味は、美しい花や植物を見て「きれいだな」と感じるだけでありません。花や緑に触れると、心が安らいだり、ほっとしたりします。そうした自然とのつながりが、私たちの心の豊かさやウェルビーイングにも関わっていることに気付く機会になるでしょう。そして、豊かな未来をつくるためには、技術を発展させ、暮らしを便利にすることと同じように、自然を守り、自然と共に生きていくことも大切であると考えていることにもつながります。

博覧会という特別な一日だけでなく、日頃から花壇や畑、そして本校の大切な財産である裏山など、身近な自然にたくさん触れてほしいと思います。見て、触れて、香りを感じ、「なぜだろう」「もっと知りたい」と心を動かす。そんな経験を積み重ねながら、自然と人が共に生きる、美しく豊かな未来について考えられる子どもたちを育てていきたいと思っています。

10月 生活目標

自分の力を思い切り表現しよう

- ・友達と協力し合って行動しよう
- ・学校や学級の仕事を進んでしよう

前期出席、あゆみについて

前期の出欠席についてのお知らせを、10月1日(木)に配付します。お子様の4月から9月までの出欠席の様子をご確認いただき、訂正等がある場合には6日(火)までに担任へお知らせください。

また、9日(金)は前期終業式です。あゆみをお渡ししますので、内容をご確認の上、保護者印を押印してください。あゆみは、13日(火)に各担任へ提出していただきますよう、お願いいたします。